

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
https://clanago.com
プレイガイド
アイチケット
0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル

◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行
株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージュビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: http://www.mane-pro.com



内藤美佐子

「戦争を語り継ぐ演劇公演の会」(代表・伊藤敬)の第11弾「山脈(やまなみ)」(作・木下順二、演出・伊藤敬)が8月23、24日(両日とも午前11時と午後4時)東文化小劇場との共催で開催される。これまで全作とも伊藤の脚本だったが、今回



上田 定行

初めて既存の作品に取り組み。(木下順二は私などは別格。読み進めると紛れもない「日本」が立ち上がる。私にとって、出演者にとっても素晴らしいテキストです」と脱帽する伊藤だ。「山脈」は1945年春、終戦直前、直後の物



白石 美香

語だが、単なる反戦ドラマではない。主軸になるのは主人公としての「道ならぬ恋」。明日を知らぬ戦時中に愛を貫いた、勇気ある女性の壮絶なラブロマンスなのである。その大役(ダブルキャスト)を担うのは伊藤組の常連で百戦錬磨の内藤美

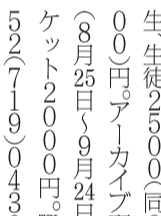


福田 敏一

伊藤は「作品には、新しい時代に生きる女性像が力強く描かれていま

木下順二の傑作戦中ドラマに挑む 8月23、24日 東文化小劇場で「山脈(やまなみ)」

佐子と、今回大抜擢を受けた白石美香。内藤は「せりふの行間から、し子の生き様がうかがえます。それを観客に伝えるのは容易ではありません。白石は「疎開先(信州)の自然と人情、そしてし子の強さを表現できれば」とのめり込む。



丹羽 昭子

す。終戦のわずか1カ月前に、どんなドラマが繰り広げられたのか、その目で確かめていただきたい」と来場を呼び掛ける。内藤グループの共演は上田定行、田中峰子、池戸陽平、川瀬邦成、小嶋彩子、野畑幸治ほか。白石グループの共演は福田敏一、渡部千枝、重石義幸、三雲一二、すぎむらとしはる、灰塚弘ほか。

日時指定自由席3,500円(当日4,000円)、学生、生徒2,500円(同3,000円)。アーカイブ配信(8月25日~9月24日)チケット2,000円。TEL 052(719)04300。

男性合奏団「ユニオン無頼派」結成

名手17人、オーケストラの枠を超え



寺田 史人(Vn)



平光 真彌(Vn)



小尾 佳正(Vn)



吉岡 秀和(Vn)



小坂井聖仁(Vn)



荒川 太一(Vn)



岡田 直人(Vn)



鎌田 鴻太郎(Vn)



鬼頭 俊(Vn)



中山 翔太(Va)



山内 佑太(Va)



園部 真秀(Va)



幸田 有哉(Vc)



河井 裕二(Vc)



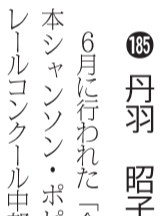
稲田 悠佑(Vc)



北島 明翔(Cb)



榊原利修(Cb)



丹羽 昭子



シャンソンの扉

子供たちの未来に平和を願い シャンソン歌う元保育園園長



丹羽 昭子

「自分の経験していかないようなドラマを、3分間で伝えられる。シャンソンは、別な国の出来事を届けることを大事に歌い

会」で「涙のベルジュ」を歌い入賞。平和希求賞をダブル受賞した丹羽昭子。歌が好きになったのは、越路吹雪の華麗な佇まいと歌唱力に魅了された。「苦勞してチケット

「特に若手は他のオケのメンバーとやるのは勉強になる。顔と名前を知ってもらうプラスもある」と張り切る。

初回のプログラムは、ヴィヴァルディ「弦楽のための協奏曲ト長調アラ・ルスティカ」、テレマ「ドン・キホーテ」、パセル「妖精の女王」、それに近代ポーランドのカルヴォーヴィチ「弦楽セレ

8月17日にエルム平和希求ライブ
「平和でなければ文化は育たない」のポリシーを掲げ、2016年から毎年開催されている「エ

ルム平和希求ライブ。今年は8月17日午後2時から千種区吹上のライブハウス・エルムで開催される。出演は丹羽祥子、ピアノは北川美晃。全自由席4,000円(ドリンク付き)。予約はTEL 052(733)0080。

を取り、中日劇場などに聴きにきました」自ら歌うようになったのは50代後半。娘が結婚し、少し寂しさを感じていた頃、加藤修滋(エルム主宰)の新聞コラムで、仕事をしながらシャンソンを歌う人の話に心ひかれた。「保育園の園長を勤めながら、松坂屋の文化教室で歌を習い始めました」

「初回は弦楽器だけでなく管楽器を含めるなど柔軟な編成で臨む。二回目は来年2月14日で、年2回を目標にする。全自由席4,500円、学生2,500円。TEL 052(678)5310。

ヴァイオリンとピアノとチェロによる
真夏の音楽祭
ヴァイオリン、チェロ、そしてクリスタル・ピアノで奏でられるクラシック、タンゴ、シャンソン、そしてスギテツ十八番の冗談音楽等
2024.8/11 sun
クリスタル・スタジオ (千種区吹上2-4-5 エルム2F)
お昼の部 start 13:00 前売 3,500yen +ドリンク代
夕方の部 start 15:30 全自由席 (整理番号順)
ご予約 Live Pocket (右記QRコード) エルム TEL 052-733-0085
武井英哉 (cello)
スギテツ 岡田鉄平 (violin) 杉浦哲郎 (pf・arr)

韓国人ソリスト圧巻の実力を発揮

スターズ・イン・アッタ

5月に男声カレテット「アルテ・アルト」を結成しポップスを歌った安賜勳が、新たなメンバーとともに「スターズ・イン・アッタ」(6月15日・熱田文化小劇場)を開催。本職のソリストを披露した。出演したのはコ・ヒョナ(ソプラノ)、金澤澄華(同)、林美予子(同)、キムドンソプ(バリトン)そして安(テノール)。管弦楽はジョン・ソイル指揮、フィデール室内オーケストラが行った。

舞台批評

世界巡演の夢、名古屋でスタート



近野賢一と洪一(ホンイル)

力強い重低音、フレンドリーな人柄。素晴らしいバス歌手に出会った。東海地区を代表するバリトン近野賢一と「デュオリサイタル」(6月14日・電気文化会館)を開いた韓国籍の音楽家・洪一(ホンイル)である。

近野と洪は2007年

日本人女性と結婚し、二人の娘とともにウィーンに住んでいる。この日は有名オペラのソリストに加え、洪は韓国民謡「新高山打合」を、近野は日本歌曲「鐘が鳴ります」を歌った。母国語の歌唱で、一気に両者の表情が豊かになった。二重唱は「清教徒」ラッパを吹き鳴らせ「ドン・

にドイツのフライブルク音楽大学で出会い、ともに学んだ学友同志。近野によれば「将来は二人で世界を巡演しよう」と誓った「そうで、今回がそのスタートになった。余談になるが洪は

パスクワレレ、静かに静かに」の2曲。バスとバリトンの重唱は重量感にあふれた。アンコールの「カルメ

ン・闘牛士の歌」では二人がアイコンタクトでリードを取り合った。親友ならではのコンビネーション、そして重厚な

ハーマニー。ピアノはリア伴奏に定評の石山英明が務めた。実に楽しいコンサートだった。(S)

トラバスにはウィジュアル的な効果もあった。何より両者には、川出をリスペクトする優しさがあつた。

プログラムは新旧のシャンソン、川出が作詞作曲したオリジナル、ピアソラのタンゴほか多彩。最も印象に残ったのはファド(ポルトガルの民族曲)「難船」。アズナールの「ラ・ボエーム」も巧みだった。

「プロとしてのキャリアは37年になります。フランス語で歌っても、歌詞の心がリスナーに伝わることが重要であり、目標でもあります」と川出。

ピアソラのタンゴ、ファドも巧みに



川出 祥代

格派。堪能なフランス語に加え、彼女には持つて生まれた華やかさがあつた。

プロデュースは新旧のシャンソン、川出が作詞作曲したオリジナル、ピアソラのタンゴほか多彩。最も印象に残ったのはファド(ポルトガルの民族曲)「難船」。アズナールの「ラ・ボエーム」も巧みだった。

「プロとしてのキャリアは37年になります。フランス語で歌っても、歌詞の心がリスナーに伝わることが重要であり、目標でもあります」と川出。

「プロとしてのキャリアは37年になります。フランス語で歌っても、歌詞の心がリスナーに伝わることが重要であり、目標でもあります」と川出。

「プロとしてのキャリアは37年になります。フランス語で歌っても、歌詞の心がリスナーに伝わることが重要であり、目標でもあります」と川出。



コ・ヒョナと安賜勳

熱のこもった良い演奏をするという評判の、フィルハーモニー管弦楽団のサウンドとスタイルを敬愛するプロ、アマ混在のオーケストラである。記念演奏会のプログラムは、3人のシユトラウムは、3人のシユトラウムは、幕開けはリヒャルトによる「ウィーン・フィルのためのファンファーレ」、続いてヨハンの「ジプシー男爵/序曲」、ヨーゼフの「天体の音楽ほか小品が続ぎ、ラストはリヒャルトの大作「アルプス交響曲」で閉じた。総勢112人の大所帯

を、ウィーン・フィルに38年間在籍したトロンボーン奏者カール・ヤイトラーが指揮。毎年元日にウィーン楽友協会ホールで開催されるニューイヤークンサートは、この日の管楽器のバラつき、ストリングスの引きずり感だが、これはプロのオーケストラにも言えること

で、100人を超える大合奏ともなれば致し方ない。1000円という安価な入場料も大入りにつながった。評判通りの熱い演奏会だった。

「フィガロ」を知らない人は(多分)いないだろうし、親切なナビゲーター(杉浦圭介)が、状況を説明してくれる。一幕の「バドミントン」を見た後だから、何があっても驚くことはない。感心したのは研修生の流暢(りゅうじょう)なイタリア語と芝居の上手さ。中でも伯爵夫人を演じた釘宮芽月とスザンナ役の松永萌の出来が良かった。二人は3月の二期会公演「源氏物語」でもメインキャストとして好演している。

残念だったのは、あまりにチープな舞台(私には稽古場にしか見えなかった)。演奏さえ良ければといった考え方は、結果的に演奏の価値を下げることになる。(茂)

「フィガロの結婚?」

二期会オペラ研究所

左下の写真は、ある有名オペラの一場面。さて、その作品は?

答はモーツァルトの傑作「フィガロの結婚」。コンセルヴァトリー有名古屋二期会オペラ研究所の終了公演(7月11日・東文化小劇場)第一幕の

写真である。台北、演出、指揮は辻博之。出演したのは6人の女性研修生と客演の男性ソリスト5人、そしてピアノの重左恵里。

最後に天野さんと話したのは昨年の夏。天野さん演出の「りんす」が13年振りに再演されることになり、その取材をさせてもらった。場所は栄のナディアパークだったの

だが、指定された会場(部屋)が分からない。廊下でうろろろしていたら、ばったりと天野さんに出会った。天野さんも会場を探していたのである。体調が悪いとは聞いていたが、ハアハアと肩を息をして苦しんでいた。結構な距離を二人で足早に歩いた。今思えば、悪いことをした。

天野さんの体調を気遣うべきだった。最後に見た天野さんの演出作品は昨年12月にシアターA01で行われた人形芝居「高丘親王航海記」である。1992年に白川公園で野外劇として上演され、名古屋の演劇史を飾った大作である。その奇想天外な冒険物語は、天野さんの人生そのものだった気がする。

天野さんの体調を気遣うべきだった。最後に見た天野さんの演出作品は昨年12月にシアターA01で行われた人形芝居「高丘親王航海記」である。1992年に白川公園で野外劇として上演され、名古屋の演劇史を飾った大作である。その奇想天外な冒険物語は、天野さんの人生そのものだった気がする。(上野茂)

研修生6人、客演陣の力借り奮闘

追悼

奇想天外な冒険物語を生きた天野さん

だが、指定された会場(部屋)が分からない。廊下でうろろろしていたら、ばったりと天野さんに出会った。天野さんも会場を探していたのである。体調が悪いとは聞いていたが、ハアハアと肩を息をして苦しんでいた。結構な距離を二人で足早に歩いた。今思えば、悪いことをした。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 青山 皆江 神谷久美子 中川 幸作
秋田 昌子 北村 哲也 仲条 優理
荒川 洋子 工藤寿々弥 夏目 久子
飯田 光代 佐藤 典子 名鶴ひとみ
出田 光代 佐藤美智子 西川 長秀
伊藤 修 佐野 和美 野々山保治
伊藤 敬 澤脇 達晴 野村 祐子
伊藤 直樹 白樺 八青 服部 節子
稲垣 舞比 まこととほる 花咲 市岡
今村 早如 杉江 瑠美 花柳 馨優
内田 寿菊 鈴木 幾子 林 雅仁
内田 寿千代 鈴木久美子 福井 啓子
内田 寿晴 鈴木 文雄 瀧本晴都子
内田の千鶴 須山 仁美 松波千津子
内田のり美 角田真優美 松本 道子
大寺 資二 高倉 麻耶 見波 紀子
岡田 一男 武市 孝三 宮西 圭三
岡崎 保彦 竹元まさ子 山口 雅子
小倉ひろこ 田淵友佳理 吉田 尚弘
小野由加利 玉田 弘子 よしみゆうこ
加藤 静子 つつみあつき 渡部 千枝
金澤 志保 手塚 淑子 ほか
蟹江 尾八 戸田美江子

朗読音楽劇 革命への行進曲 A March to Revolution Mozart vs. Censor ~モーツァルトVS検閲官~

会員募集 「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行をご支援いただけるサポート会員を募集しています。

和光写真/衛テス・大阪/関三光/Hide Dance Lab./衛ビデオ映社/松岡伶子バレエ団/エス・エー企画/Office KAN

ザ・ストリングス名古屋
2024.9.2

クラシック名古屋
2024.9.2

クラシック名古屋
2024.9.2

坂田知樹
ピアノ・リサイタル

9/13

クラシック名古屋
2024.9.13

音楽の紡ぐ - 実田・コンツェルトと創音会 -
シェイクスピアの世界

9月21日
18:00開演 (17:30開場)

クラシック名古屋
2024.9.21

上原宏の
☆音楽☆
聴き歩き



カルテットSAY
弦楽四重奏団「カルテットSAY」が第六回演奏会(6月5日・HIT OMIホール)を開いた。2017年に愛知県立

諏訪内晶子 & オライオン・ワイス
Akiko Suwanai & Orion Weiss
デュオ・リサイタル

ヴァイオリン
ピアノ

ブラームス J. Brahms
ヴァイオリン・ソナタ第1番 長調 op.78 「雨の歌」
Violin Sonata No.1 in G-Dur op.78

ヴァイオリン・ソナタ第2番 長調 op.100
Violin Sonata No.2 in A-Dur op.100

ヴァイオリン・ソナタ第3番 短調 op.108
Violin Sonata No.3 in d-moll op.108

2024.9/6 18:45開演 [18:00開場]
愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 ¥8,000 A席 ¥6,000 B席 ¥4,000 (全席指定・税込)

【主催・お問合せ】クラシック名古屋 052-678-5310

新鮮だった高木、徳田のデュオ
レーベインムジック
レーベインムジックのシューマン室内楽シリーズ、第6回は「ドレスデン1849」(7月6日・電気文化館)。シューマンが静養先のドレスデンで作曲した作品が中心だった。



「民謡風の5つの作品」(全5曲)は、高木俊彰のチェロと桑野郁子のピアノが、民謡調のさまざまな小品を、バランスよく表現した。アダージョと

芸人の関係者で結成、年1回のペースで着実に活動してきた。今回はハイドン「弦楽四重奏曲第79番ラルゴ」を挟んで、プッチーニと

ヴェルディ。イタリア人作曲家の弦楽四重奏曲は珍しい。プッチーニはバトロンのだった公爵の追悼曲。それらしい重い作品で幕を開けたが、ハイドンで雰囲気は一変。軽快で作曲

家の特色がよく表現されていた。第2楽章の「ラルゴ」は特に印象的だ。メインのヴェルディは、オペラのようにドラマチックで躍動的な作品。4人のバランスの良さに加え、重厚で気迫を

その前にベートーヴェンの小品を2曲、ヴァイオリン・徳田真信とチェロ・高木がデュオで、珍しさもあって新鮮だった。最後はブラームス「ピアノ三重奏曲第1番」を3人で。若き日の傑作で聴きごたえがあった。

高木の成長ぶり、徳田の清楚で美しい音が印象的だった。驚異的なペースで継続中の「つつみあつきクラリネットコンサート」、98回目は「ウィーンの春V」(6月9日・アーク栄サロンホール)。私はウィーンの春を知らないが、そんな感じが味わえ

感じた。弦楽四重奏団は年を重ねて味が出る。これからが楽しみだ。

内容だった。つつみ、堤久美子のレギュラーに加え、菊次寛とクラリネットが3人。つつみは、低音のアルトクラリネットを担当、音の幅が広がった。ピアノはいつもの稲神佐和子。若い時代のモーツァルト「ディヴェルティメント第2番」で幕開け。初めて聴いたが楽しい雰囲気。有名な「南国のバラ」のあとは「プラター公園の春」「ウィーンの辻馬車の唄」など珍しい曲が続いたが、ウィーンの春を感じる内容。ウェルナーの「野ばら」は懐かしい。100回の大記録が近づいた。

KDDI スペシャル
ロビン・ティチャーティ指揮
ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団
ピアノ: 辻井伸行

ベートーヴェン
《エグモント》序曲

ベートーヴェン
ピアノ協奏曲 第3番

ベートーヴェン
交響曲 第3番「英雄」

2024.9.7(土)
14:00開演 (13:15開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール

オーケストラサンカ金沢
第48回名古屋定期公演

セルゲイ・ナカリヤコフ
指揮

OEKのブラームス交響曲
深化した天才ナカリヤコフ

サン・サーンス
交響詩「死の舞踏」 作品40

アルチュニャン
トランペット協奏曲

ブラームス
交響曲 第2番 二長調 作品73

2024.9.24(火) 19:00開演 (18:15開場) 愛知県芸術劇場コンサートホール

音環X
9.26

クラシック名古屋
2024.9.26

KAEKO ISHIKAWA
石川馨子 ラヴェル 全曲演奏会

2024.4.6

2024.9.28

富澤真未子
ピアノ・リサイタル

2024.9.29

Union無頼派
BURAIHAを聴く
感動の夜

2024.10.17

奏でる人を聴きたい人へ 人と音を結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310

名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 ※土日祝休)

アイ・チケット web 検索

お好きな時間にお好きな席を選んでクリック♪

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」

多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことまでオペレーターが丁寧に対応いたします。ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。